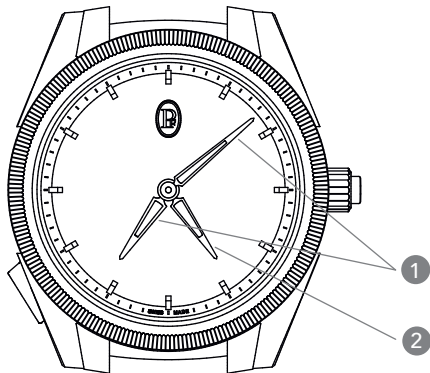


トンダ *PF GMT* ラトラパンテ
PF051

PARMIGIANI
FLEURIER



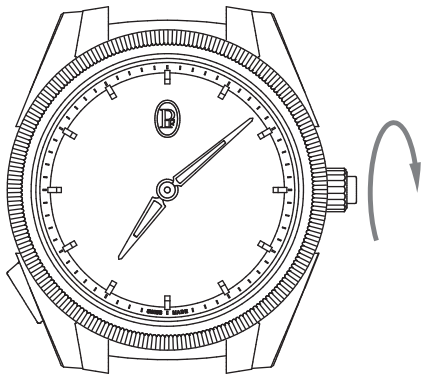
トнда PF GMT ラトラパンテ

PF051

3

各部の説明

1. ローカルタイム、分
2. ホームタイム



反時計回り 時計回り

巻き上げ

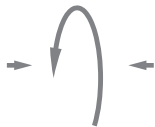
時計を手首に着用しているときは、手首の動きにより自動的に巻き上げが行われます。パワーリザーブを完全に蓄えるには、時計を少なくとも 12 時間着用する必要があります。この時間は着用者の使用状況により異なります。さらに、ゼンマイが完全に巻き解けたら、リ्यूズを 15 回ほど回す必要があります。これにより、メカニズムは着用できる状態になります。キャリバーによってゼンマイを完全に巻き上げるために要するリ्यूズの回転数は異なります。リ्यूズによる巻き上げは、いつでも行うことができます。時計が停止した場合は、ゼンマイを巻き上げる必要があります。これを行うには：

1. リ्यूズを時計回りに何回か回してゼンマイを巻き上げます。

リ्यूズによる巻き上げは、いつでも行うことができます。



1 2 3



反時計回り 時計回り

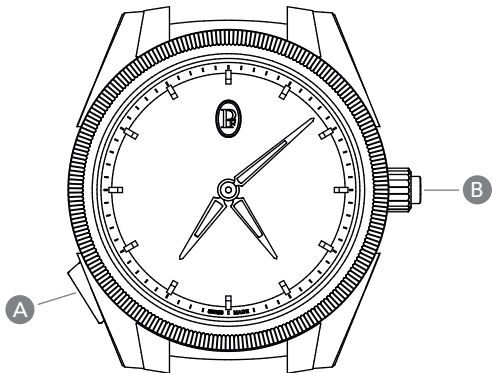
トンダ PF GMT ラトラパンテ

PF051

7

時刻の調整

1. リューズを 1 段引き出します。
2. リューズを反時計回りに回して希望の時刻に合わせます (針は時計回りに回ります)。
3. リューズを元の位置に戻します。



GMT ラトラパンテ機能

プッシュボタンの説明

A. ローカルタイム調整ボタン

B. ホームタイムボタン

1. 希望のローカルタイムが表示されるまでプッシュボタン A を押します。1 回押すごとに、ローカルタイムの針がホームタイムの針に対して 1 時間ずつ進みます。
2. プッシュボタン B を 1 回押すと、ローカルタイムの針がホームタイムの針の上に戻り重なります。

ご注意

プッシュボタン A と B を同時に押さないでください。

PARMIGIANI.COM

